

平成28年度 第5回 未来創造セミナー実績報告

平成28年11月16日

草津市総合政策部草津未来研究所
アーバンデザインセンターびわこ・くさつ

1. たぶんカフェ@UDCBK!の目的

未来の草津市は大学や大企業の工場が立地することから、外国にルーツを持つ学生や労働者、そして、その家族が暮らすまちになる。

未来の草津市のアーバンデザインを考える上で、外国にルーツを持つ人々の視点を取り込むことは非常に重要となる。

そこで、UDCBKに、外国にルーツを持ち、草津に暮らし、学び、働く人々が気軽に自由に訪れるよう、「たぶんカフェ@UDCBK!」(多文化とカフェを掛け合わせて命名)をシリーズで実施する。

3回シリーズとして、各回、同じ環境の日本人との交流を通じ、お互いを知り合い、それぞれの課題を知り合うことによって、草津のアーバンデザインを一緒に考える対話のきっかけづくりを行う。

なお、本プログラムは草津市国際交流協会(KIFA)と協働で実施する。

2. 未来創造セミナー

平成27年度の未来創造セミナーの試行結果、および草津市大学地域連携強化プラン懇話会における議論等を踏まえ、アーバンデザインセンター事業として実施する平成28年度の未来創造セミナーについては主に次の二つの目的で実施することとしました。

	機能	内容	回数
未来創造セミナー	交流	多様な人々の交流を目的に草津の歴史や草津に住む人々のライフストーリー等を語ってもらう場	4~6
	連携	産学公民連携により、草津の未来のイメージを具現化するアイデアを纏め、社会実験等に接続	4~6

3. 第5回 未来創造セミナー概要

(1) テーマ・目的等

- ① テーマ：「草津で働く外国人と日本人」
- ② 目的：草津で働く外国人の職場や草津での暮らしの経験を聞いて、草津の未来のまちのデザインを一緒に考えよう。
- ③ 開催日：平成28年11月16日（水曜）午後6時30分から午後8時まで
- ④ 開催場所：市民交流プラザ 中会議室（フェリエ南草津5階）
- ⑤ アドバイザー：小沢 道紀氏（立命館大学 スポーツ健康科学部）

(2) 当日のスケジュール

たぶんカフェ(多文化×カフェ)@UDCBK

たぶんカフェ@UDCBK の すすめかた

18:40	1. アドバイザーによる話題提供	19:40	6. 発表
19:00	2. 各グループで自己紹介	19:55	7. 講評
19:10	3. 日本(草津市)で働いて思ったことについて話し合う		

4. 第4回未来創造セミナー「たぶんカフェ」の内容について

- (1) 立命館大学 スポーツ健康科学部 小沢道紀 先生による話題提供
テーマ：「草津で働く外国人と日本人」

外国にルーツを持つ人の割合が増えつつある。

また格差も広がりつつあり、働くよりもなんらかの資本をもっている人がますます富むようになっている。

少ない職を奪い合うため、移民などの社会的排除が起こっている。一方で、助け合いなどの社会的包摂の動きもでてきている。

日本でも外国にルーツを持つ人が増える中で、大切なのはダイバーシティ(多様性)を認めることである。

- (2) 日本(草津市)で働いて思ったことについて議論

6組のグループに分かれ、「日本(草津市)で働いて思ったこと」をテーマに各グループで議論し、意見をふせんやカラーマーカーを使って模造紙にまとめていただきました。



写真 1. 各グループの議論のようす



写真2. グループのまとめ

(3) 各グループのまとめを発表

各グループの意見

- ① ・日本は良い国。
 - ・会社では返事をする人、しない人がいる。返事をしてもらえないと悲しい。
 - ・最後は海のような広い心を持つことが生き延びることにつながる。
仕事中にたばこを吸うなどルールを守っていない人も多くいる。
 - ・仕事が楽しくなるような社会になってほしい。

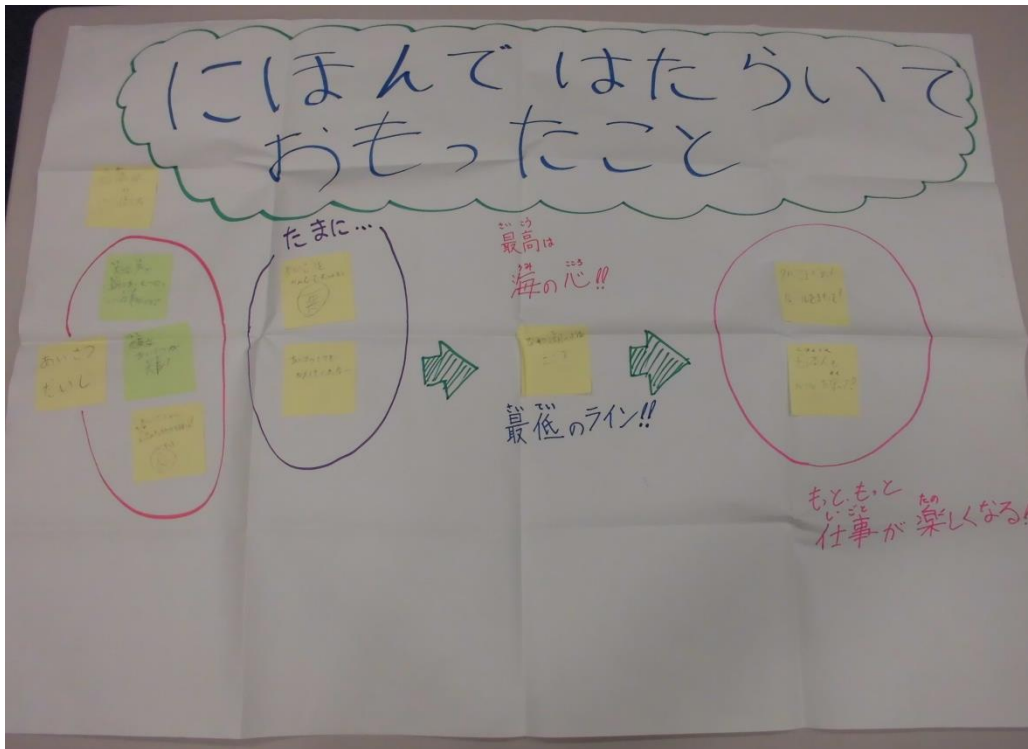


写真3. 各グループのまとめ

- ②
- 飲みにケーションが上手くいっている。
協力的に仕事をしてもらえる、といったアルコールの効果が良くでている。
 - 日本はルールが多く、固い。
残業時間については自分の仕事を中心に時間を組むことができたが、日本ではできない。
 - 日本は残業時間が多い。
4ヶ月前は夜10時まで仕事があったが、今は夜8時までになった。
男性と女性の差が気になる。
もう少し自分の仕事を中心に時間を配分できるようにしてほしい。
保守的なところで良いところと悪いところがある。
- ③
- 残業時間が多すぎる。
1~2時間なら良いが、4時間はダメ。休憩時間が短い。
 - やさしい日本語と難しい日本語がある。漢字が難しい。
自分の権利が分からない。会社のルールを教えてくれない。
日本人はまじめだ。

- 職場で日本人と外国人が交じり合ってサッカーをするなど、交流ができるようにしてくれている。
- 法律やルールを教えてくれると良い。



写真 4. 発表のようす

- ④
- 二つの問題がある。社会の仕組みと心の持ち方である。
 - パート従業員でもっと働きたいのに働けない。
給料が上がらない。これは外国人だけでなく日本人も同じである。
3つ、4つの仕事を掛け持ちして生活が不安定である。
正規職員であれば相当違う。
 - 主婦であったとき、家事を完璧にしなくてはいけないといったプレッシャーがある。
学校の参観日の参加者は圧倒的に女性が出て行くことが多い。
社会的価値観が、女性としてやらなければならないことが多い。
 - 日本人ははっきり言わないことが多い。
これらは心の問題であると考えている。
- ⑤
- 日本人はやる気がある。
改善は日本の特徴である。
安全第一であり、朝礼やラジオ体操が良い。
 - Why japanese people 遠慮して休みを取らない日本人。

会議が長い。
残業 4 時間はダメ。

- 昔は外国人を歓迎していたが、忙しくて歓迎会はない。
しかし、声を掛けたら話しやすい。
自分の国に帰る長期休暇がほしい。
日本人の評価の基準が分からない。

(4) アドバイザーによる講評

日本では、場所によっては言葉を発しなくても通じることがある。
神社の建物を修理するときなど修復費をいくら出すか各家によって言わなくても決まっているようなことがある。

通じないけれどわかっているでしょうといったことがあるが、教えてくれる人がいれば、きちんと伝えてきちんと受け入れられることがある。
日本人と外国人に限らずお互いに情報伝達をしっかりとすることで、スムーズに生活できることが多くある。

5. 第5回 未来創造セミナーとしてのまとめ

▶ 参加者数

「草津で働く外国人と日本人」をテーマに開催したため、勤労者が参加しやすいように平日の午後6時30分開始としました。定員は30名としていましたが、当日は37名の方々にご参加いただきました。

▶ アンケート集計結果

問1	非常に有意義	有意義	まあまあ	物足りない	非常に物足りない	合計
①運営等全般	8	19	5	0	0	32
問2	非常に有意義	有意義	まあまあ	物足りない	非常に物足りない	合計
②内容	10	17	5	0	0	32
問3	大いに活かせる		いくらか活かせる		ほとんど活かさない	合計
③今後活かせるか	15		15		1	31 (無回答1)
問4	適切		長すぎる		短すぎる	合計
④時間	26		1		5	32
問5	適切	曜日が不適切	時間帯が不適切	曜日・時間不適切		合計
⑤開催日	27	0	0	3		30 (無回答2)

参加者37名に対し、アンケート回収数は32件でした。回答率は86%でした。セミナーの運営等全般、セミナーの内容についてはいずれも高評価を得ることができました。

セミナーの時間に関しては「短い」等の意見が多数ありました。

働く外国の方を対象にセミナーを開催しているため、配布資料の内容もやさしい日本語で表現するように関しては「漢字が難しい、ふりがなが必要」等の指摘がいくつかあり、今後の参考になる意見も見られました。

➤ セミナー参加者の主な意見

- 働く外国人の方と日本人とでこのように話し合う機会はあまりないと思うので、とても有意義だったと思う。今日をスタートに今後も開催してほしい。
- 外国人にとって漢字が難しかったので、つぎ、ふりがなを書いたほうが良いと思います。
- UDCBK が何であるかを伝えつつ、たぶんカフェという、よくわからない（なじみのない）セミナーにもかかわらず、たくさんの方が集まられたと思う。勘違いでこの場に来られた人とも別の意味で新しい出会いとなって、これこそUDC！と思った。
- 今回はより国際的な考え方を聞いてよかったです。
- 配布された資料に” やさしいにほんご” と書かれていますが、運営側や発表者の先生のことばが難しすぎて、やさしいにほんごからかけはなれていたと思います。ただひらがなにしておき、わかちがきにしたらいいと思っているようなところが残念でした。全てひらがなより漢字にルビのほうがわかりやすいと思います。
- 参加人数が多く驚いた。外国の方の様々な意見が聞くことができ良かった。
- 「外国人と日本人」というより「男と女」という軸が中心に議論された。それはそれで有意義だったが、もう少し海外の方の感覚を理解したかった。
- 日本の色々なやり方、慣習についてもう少し深く知りたい。また慣習について理解を求めたい。

➤ UDCBK としての成果

今回は実際に日本で働く外国にルーツを持つ人を対象に、「働く」をテーマに実施しました。テーマ性もあり、企業の方の参加も得られました。また外国にルーツを持つ方も日本語で話す場を欲していることがわかりました。

➤ 今後の課題

日本企業もグローバル化が進んでいることもあり、異文化経験や国際理解というフレームではなく、同じ職場で働くものとして対等に意見交換ができました。外国にルーツを持つ方でもUDCBK で開催する他のセミナーにも参加していただけるものと思った。いかに多文化以外のセミナーにも参加していただけるかが今後の課題であると考えます。